

## 第2節 環境問題に対する意識

学校における環境教育の充実に伴い、小学生が環境について学ぶ機会も増えつつあります。ここでは、地球環境問題を含め、関心のある環境問題、日頃行っている行動、今後行うべきことについて尋ねました。

### 1. 現在関心のある環境問題

「環境についていま気になっていることは何ですか」という問いに対して、「川や海が汚れていること」が90.3%と最も多く、次いで「排ガス等で空気が汚れること」「ごみの問題」となりました(図7参照)。

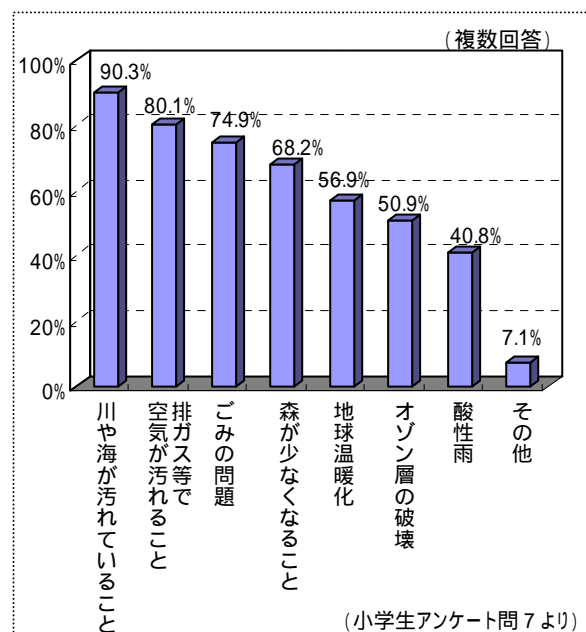


図7 環境についていま気になっていることは何ですか

気になると思う項目全てに を付けてもらったところ、ほとんどの項目に を付けていました。同時に、「その他」の自由記入欄に、「川などにそだいごみをすてている」「自然があまりない」「生き物が森といっしょに少なくなる」など、しっかりとした意見を書いた小学生も多く、環境問題に対して大きな関心を持っていることがわかりました。

### 2. 環境のために行っていること

「生活の中で環境をよくするためにやっていること」について、「歯みがきのときは水道の蛇口を閉めている」では「いつもしている」が75.3%を占め、次いで「誰も見ていないテレビは消す」「人のいない部屋の電気は消す」「決められたごみの分別をしている」という順になりました。

それに対し、「物は大切に使い、こわれたら修理して使う」では、「いつもしている」が他と比べて低く、「メモ用紙や書き取り練習は広告の裏紙などを使う」においても普段あまり行われていない結果となりました。「使用していない電化製品のコンセントを抜く」は、まだ浸透していないようで、最も行われておらず、「あまりしていない」「していない」が合わせて52.5%でした(図8参照)。

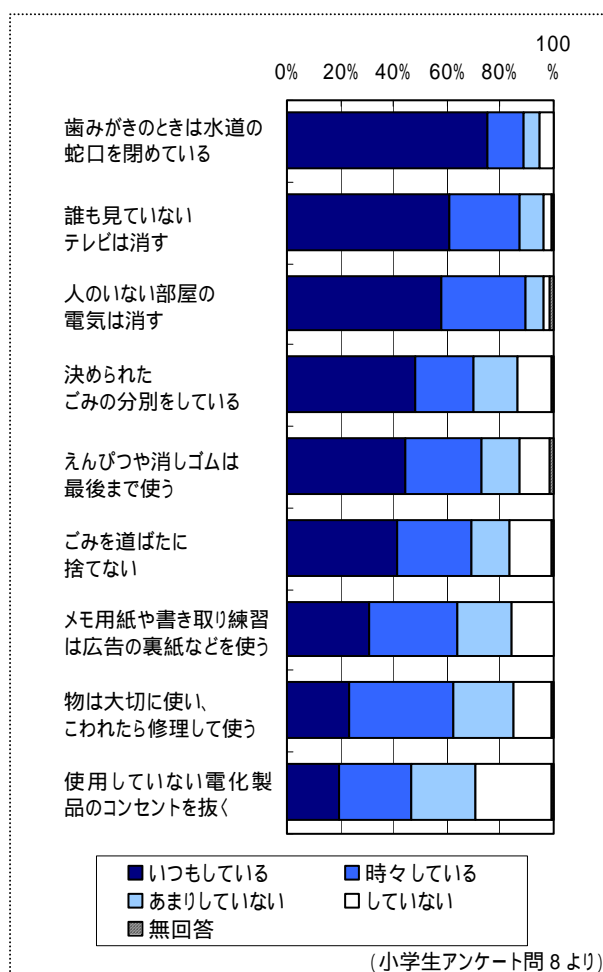


図8 生活の中で環境をよくするためにやっていること

### 3. 環境のために今後行うべきこと

「今後どのようなことをしたら環境はよくなると思いますか」という問いに対して、「海や川をきれいにする」が91.4%と最も高く、市民アンケートと同様に、小学生も水環境の保全・改善が最も重要であると考えていることがわかりました。

次いで、「自動車の排気ガスや工場の煙を少なくする」「電気や水を節約する」「ごみを拾うなどの美化活動をする」の順となり、ここでも普段の生活で気付く身近なことが多く挙げられています(図9参照)。

#### まとめ

小学生は、地球規模の問題よりも、身近に感じる環境について問題意識を持っているようです。今後行うべき対策についても、普段目で見えて「よくない」と感じていることが、そのまま結果として表れたといえます。このような直接的な子供の視点が、時として大人では見落としがちな面を捉えることもあり、注目していく必要があると思われます。

環境行動への取り組みについては、節電や節水は小学生にも浸透していますが、資源を無駄遣いせずものを大切にすることについては、あまり意識をしていないようです。市民アンケートと比較すると、節電や節水の実施状況は大人に近いですが、例えば、市民アンケートでは「使えるものはできるだけ使い無駄なものを買わない」に48.9%の市民が「いつもしている」と答えたのに対して、小学生アンケートでは、「物は大切に使い、こわれたら修理して使う」に「いつもしている」と答えた小学生は23.2%でした。物が豊富にある時代に生まれた子供達に、資源には限りがあるということを教えることは、大人にとって重要なことであるように思います。

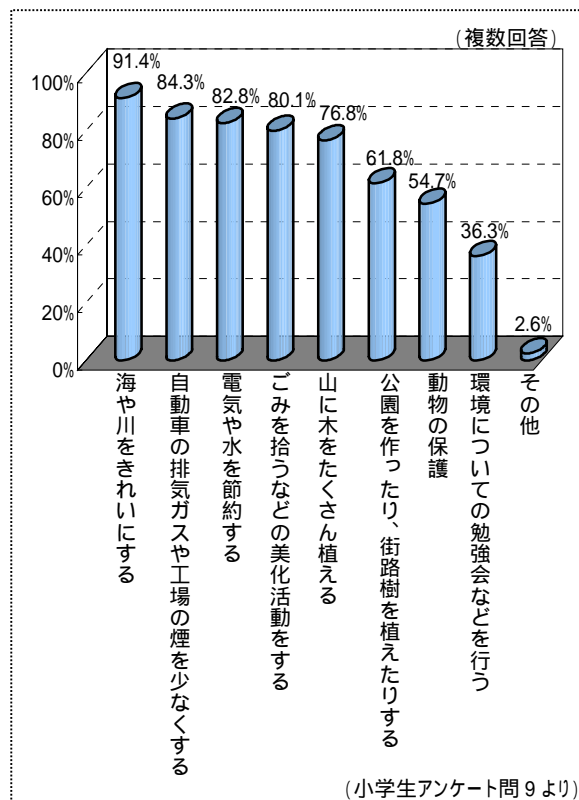


図9 今後どのようなことをしたら環境はよくなると思いますか

#### キーワード

身近な環境  
もの大切さ